

産官学民との連携による平成29年度戸田市教職員研修ダイジェスト

- ・「プレゼンテーション研修会」株式会社リバネス、株式会社情報通信総合研究所との連携
- ・「プログラミング教育研修会」株式会社アーテック、ベネッセコーポレーションとの連携
- ・「経済教育研修会」一般社団法人CEE ジャパンとの連携
- ・「英語指導法研修会」青山学院大学との連携
- ・「21世紀型スキル育成のための研修会」株式会社インテルとの連携



プレゼンテーション研修会



プログラミング教育研修会



経済教育研修会



英語指導法研修会

戸田市の教育に期待すること

21世紀型スキル育成アドバイザーとして活躍する3名から激励のメッセージをいただきました。



株式会社リバネス 執行役員
リバネス教育総合研究センター 主席研究員

森安 康雄 氏

今年度私は教員向けプレゼンテーション研修と子どもたちのプレゼンテーション大会を通して、とどろきの21世紀型スキル育成に関わらせていただきました。

自分(たち)の考えを他の参加者に正しく伝え、結果として何かコトを起こすきっかけとするというプレゼンテーションスキルは、いうまでもなく子どもたちが社会に出てからも必須とな

るスキルです。その際にどのようなプレゼンツールを使うのかは問題ではありません。何をどう伝えれば、自分の思いで相手を動かすことができるのかということがポイントです。

子どもたちは、ともすると綺麗なデザインやアニメーション、原稿を読まないというような発表スタイルに気を取られがちです。それだけでは人は動かさません。最初の「どうしても伝えたい思い」こそが重要なのです。そのプレゼンにおいて本当に人を動かすコアメッセージは何なのか？それを繰り返し問うことでシンプルだが力強いプレゼンを組み立てられるよう指導してまいります。



株式会社情報通信総合研究所
ICT創造研究部 特別研究員

平井 聡一郎 氏

今、日本の教育界は、新しい学習指導要領によって学びの質的転換の方向性が示されるなど、大きな転換期を迎えております。しかし多くの自治体が、ICT機器環境整備に課題を抱える中、新しい学びへの対応に向けた教員研修が急務になるなど、今後

の取組に多くの不安、戸惑いを感じております。そのような中、戸田市教育委員会、戸田市立各小中学校は、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改革、英語教育、プログラミング教育、さらには読解力という本質的な課題に真っ正面から取り組まれています。これらの取組は未踏の道を進む故の困難さ、負担感もあるでしょう。それでも歩み続ける戸田市の教育関係者の努力に敬意を評します。そして戸田市の切り開いた軌は後に続く自治体にとって、まさに「希望の軌」であると信じております。



フューチャーインスティテュート株式会社 代表取締役
教育ICTリサーチ 主宰
セサミストリート日本事務局

為田 裕行 氏

戸田市の教育に期待するのは、子供たちが生きる10年後、20年後を見据えた学校づくりです。いま、戸田市の小学校・中学校で学んでいる子どもたちが社会に出て活躍するのは、10年後、20年後です。学校には、変わりゆく社会に合わせて、さまざまなことを学べる場であり続けてほしいと思います。

そのためには、先生方も学び続け、新しい授業のスタイルなどに挑戦していかなければなりません。先生方のそうした姿勢は学校の文化となり、そうした文化をもつ学校で育った子供たちも先生と同じように、学び続け、挑戦し続けるようになるのではないのでしょうか。

平成29年度、戸田市の小中学校の先生方向けの校内研修、公開研究授業、プレゼンテーション大会など、さまざまな場で戸田市の教育に触れてきました。戸田市の教育には、そうした文化ができていてと感じています。10年後、20年後を見据えて、学び続け、挑戦し続けている戸田市の教育に期待しています。